

**H22年4月7日(水)、歩みの会バスハイク  
“有田超有名3大窯元巡りツアー”を開催しました。**

朝 9:30 に集合した、39 名(患者さん 32 名、スタッフ・先生 7 名)は、大型バスを貸し切っていざ！有田へ。

少し肌寒さが戻り、桜がまだ残っていましたよ。

行きのバス内では恒例の自己紹介。この後に行う「お名前ピンゴゲーム」に向けて皆さん耳を澄ませて名前をしっかりメモ、と。今日の意気込み発表で「今日はお茶碗をどうぞ!」「焼き物よりも、ごどうふが気になるわ～」とそれぞれの想いを公表しているうちに、佐賀に到着しました。



現地では おかはちさんが打ち合わせをしてくれていた金ヶ江さんと合流。金ヶ江さんは、有田焼の陶祖 李三平さんの末代の方なんです。このような方にご案内頂くなると、個人ではなかなか出来ない貴重な体験！まず最初に案内していただいた所は泉山磁石場。

静かな場所に「おや？山？」と思った次の瞬間、目の前にぽっかりとした空間が現れました。江戸時代からの採掘の様子が伝わる光景に、急に別世界に来たようです。四百年かけて一つの山を焼き物に変えたと言われるこの泉山磁石場、ここが日本磁器発祥の地なんですね。有田の陶器市には何度か足を運んだ事があっても、この場所は知らない方が多いのではないのでしょうか。



さて有田焼のルーツを知る旅が始まり、今回の予定は目白押しなのです。急いでバスに乗って李三平ギャラリーに。かわいらしい猪口や小皿がたくさん並べられ、早くも購買意欲がムクムクと。ああもっとじっくり見たいわ～と惜しみながらも、先を急ぎ今右衛門窯・美術館へ。細かく入れられた職人技の模様魅せられ、横の値札にしばし硬直・財布と相談するも返事は聴こえず。泣く泣く(先立つものこそ無く、無く...)次の行程へ向かうと、お待ちかねのお昼の時間。日本料理 保名(やすな)で陶器に入ったお雛様御膳が待っていました。ずっしり重たい陶箱のふたを開けると華やかな春が飛び出しました。このお昼は参加者アンケートでも非常に満足度が高かったんですよ。

お腹が満たされると、文字通り「太っ腹」になったのでしょうか、次に訪れた源右衛門窯では紙袋を抱えて出てくる姿が続々。買い物だけでなく、ここでは焼き物が作られる行程を見学し、1つの器が出来るのに如何にかかると知りました。さらに続く柿右衛門窯では日本の陶磁器がヨーロッパにまで影響を与えたのだという事に驚き、誇らしく思ったのです。



そして最後に有田焼卸団地で皆さん一斉に買い物～。  
ありましたよ！噂の“食べすぎ防止茶碗”。お茶碗の内側にうっすらと線が引いてあり、その線までご飯をつぐと約100g だそうです。あ、お猪口にも線が…。さっそくご購入された方、今後の食事療法の強い味方?!になりますね。でも“線まで”を2杯ついたらダメですよ～。  
というわけで楽しく充実したバスハイクの1日でした。

(文責:管理栄養士 泉田)

**バスハイクに引き続き、次回 歩の会イベントのお知らせです！**

**H22年7月28日(水) フランス料理 低カロリーランチ会**

場所:西区マリノア エパーグリーンマリノアホテル メゾン・ド・ヨシダ

時間:12 時開始 (15 分前位に現地集合となります)

内容:600kcal 程度のコース料理、費用:3500 円程度

※今回は会場と料理数の調整のため、出来るだけ正確な人数把握にご協力下さい。キャンセルの場合、料金がかかることもあります。歩の会会員優先で**先着順**の募集となりますが、応募人数により、非会員を含めた募集や、会員でも定員締め切りとなる事があります。

